

KES、新たに2規格

京都生まれの環境管理 普及している。2段階の規格「KES」を運営するうち1月末現在で「ステップ1」2519件、「ステップ2」1323件の機構（京都市右京区）は1日、組織の社会的責任やエネルギー管理に関する二つの新規格を創設すると発表した。それぞれ国際規格ISOに対応し、基本に「ISO26000」と「ISO50001」（社会的責任に関する）

中小により浸透へ

し、より中小企業や各種団体を取り組みやすいよう普及を図る。KESは「環境マネジメントシステム」規格で、国際規格「ISO14001」に比べ導入コストが少なく中小企業などが取り組みやすいことから

社会的責任やエネ管理

組む。「En」はエネルギー使用量削減など、実行を重視してエネルギーを管理する内容で、創設後にも含む。一定期間後にKESが計画通り実行しているかを確かめ認証する。KESは規格内容をまとめ、3月から4社程度に試験的に取り組んでもらう。9月から審査登録事業を始める。ステップ2登録済みの組織の場合、費用は十数万円程度。津村昭夫専務理事は「あらゆる組織が低炭素・低エネルギー社会に貢献できる規格にしたい」と話している。

（上野正俊）

2012. 2. 2

日刊工業

中小環境管理 2規格を追加

KES環境機構

【京都】NPO法人の KES環境機構（京都市

右京区、内藤正明代表理事、075・3223・6686）は中小企業向け環境管理の独自規格「KES」に新規格を追加する。環境管理・監査の国際規格「ISO14001」に対応する「KESステップ2」に、組織の社会的責任を手引き（SR）ガイドランスとする国際規格「同26000」などを組み込んだ2規格を発行し、9月をめどに審査登録事業を始める。中小が取り組みやすい規格として普及を目指す。新規格は「ISO26000」を組み込んだ「KESステップ2SR」とエネルギー管理システムの国際規格「同50001」を組み込んだ「KESステップ2En」。2月に規格案を制定し、3月から試験事業を始める。